

羽村市議会議員

鈴木たくや 議会/活動報告

No. 15

2011. 7. 29

日本共産党

# すずたく通信

事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450

パソコンで好評!活動日記 <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール [suztaku@ab.cyberhome.ne.jp](mailto:suztaku@ab.cyberhome.ne.jp)



## 市民のみなさんの期待に応えがんばります

みなさん、こんにちは。共産党の鈴木たくやです。4月の市議会議員選挙では、多くのみなさんのご支持でふたたび議会に送っていただきました。市民の立場に立って、期待に応えられる仕事ができるよう、全力でがんばります。ひき続くご支援よろしくお願ひいたします。

### 復興ボランティアに参加してきました

7月22日～23日、宮城県亘理町<sup>わたり</sup>へ復興ボランティアとして行ってきました。



海岸から2キロの津波に飲み込まれた地域。イチゴ農家の畑には様々なガレキ、ヘドロが混ざっています(上)。今秋の作付けにむけて、それを除去する作業をおこなってきました。



「がんばるしかない」との農家のおばさんの前向きさに励まされながら、腰を痛くしつつも一所懸命に汗を流してきました。

### 「脱原発、自然エネルギー促進」の意見書 羽村市議会で否決

6月議会で『「脱原発、自然エネルギー利用促進」への工程表を求める意見書』が、鈴木たくや他3名を提出者、共産党の倉田議員を賛成者として提案されました。

賛成討論をおこなった倉田議員は「技術的に未確立な原発を、地震国・日本で稼働し続けることはできない。期限を区切って廃止を」と主張。一方、新政会市民クラブの浜中議員は「福島事故に過剰に反応すべきでない」と主張。

採決の結果、新政会市民クラブ、公明党、民主党などの反対多数で否決となりました。

**鈴木コメント** たいへん残念な結果だった。私たちのために、子どもたちのために、勇気をもって原発ゼロ社会への道を切り開いて行きたい。



# 議会質問

3、6月議会でおこなった一般質問についてお知らせします。  
(質疑は内容を損なわないよう再構成しました)



## ①本気になって子育て支援の充実を

### 高すぎる認証保育などに補助を

**鈴木** 認証保育園、認定子ども園などの利用料は高いままだ。補助制度をつくるべきではないか？

**市長** 利用していない家庭との公平性を欠くので考えていない。

**鈴木** 他市の実施状況はどうか？

**子ども家庭部長** 三多摩26市中、18市が補助制度を実施している。

**鈴木** 広がってきているのはなぜだと考えているか？

**子ども家庭部長** それぞれの自治体の考え方による。理由は把握していない。

### 学童クラブをより良いものに

**鈴木** 学童クラブの開・閉時刻を延長するべきではないか？

**市長** 時間延長は、児童への負担が増えることなどから、慎重に検討している。

**鈴木** 子どもが安全にすごせるようにするためにも延長が必要だ。早く結論を出すべきだ。

子ども一人一人に目が届く学童クラブにするため、正規職員の配置、建物・施設の充実をおこなうべきでは？

**市長** 正規職員の配置は考えていない。建物は、施設の補修などをおこなっている。

### 「はむらっ子広場」を広げるべき

**鈴木** 計画を前倒しし、実施校を増やすべきでは？

**市長** 新たに事業を展開するには事前準備が必要。東小の状況を見て、その後の実施を決める。



### 鈴木コメント

子育て支援策は課題がいっぱい。きちんと予算をつけることが不可欠！

## ②羽村駅西口区画整理事業の見直し今こそ

### 第2次案は合意が得られたか

**鈴木** 2月に発表した第2次まちづくり設計案(換地案)の特徴は何か？

**市長** 第1次案へ寄せられた意見・要望を最大限反映したこと等だ。

**鈴木** 1次案と2次案を比較して、清算金が増えた人、減歩(土地が減ること)が増えた人は何人か？

**市長** 算出していない。

**鈴木** 1次案には意見書を出さなかったが、2次案には出した人は何人か？

**市長** 96人だ。

**鈴木** 2次案に対して1200人中、312人の権利者から意見書が出された。区画整理方式によるまちづくりの困難さを表わしているのではないか？

**市長** 2度にわたり換地案を示し取り組んできた。困難さにはつながらない。

### モノレールは羽村に来るか

**鈴木** モノレールが羽村に必ず来ることを前提にしてこの事業は考えられている。モノレールが来ない可能性も吟味したのか？

**市長** 東京都の上位計画にもと

づいて事業をすすめている。

### 今の街並みを生かした街づくり

**鈴木** 前回の議会で、「現在の街並みを生かした」整備手法を検討することを提案したが、検討したか？

**市長** 市の将来を見すえ、安全性、快適性に優れた総合的なまちづくりを目指し、区画整理法による計画に取り組んでいる。



### 鈴木コメント

第2次案も合意をえるにはほど遠い内容となった。今こそ抜本見直しが必要だ！

## ③よりよい学校教育めざそう

### 少人数学級、羽村では？

**鈴木** きめこまかな指導ができるよう少人数学級の提案を続けてきた。実施状況はどうか？

**教育長** 国・都の制度により、小作台小の1年生を37人学級から24人学級へ、一中の1年生を39人学級から33人学級とした。

**鈴木** 羽村市独自でさらに少人数学級をすすめるべきでは？

**教育長** 国・都が計画的にすすめているので、市は学習サポ-

ーターの配置などできめ細かな対応をとっていく。

### 小中一貫教育、どうなっているか

**鈴木** 三中の小中一貫教育計画に対して市民から出された意見はなにか。

**教育長** 中学校の数学に、小学6年生の担任が週1回参加することは負担が大きいのでは、という質問があった。検討・改善をはかりながら進める。

**鈴木** 一、二中学区において、今年度はどのような内容がおこ

なわれるのか。

**教育長** それぞれの実施計画を策定していく。ただし、学校数が多く、学校間の距離が遠いなどの制約があるので、それを逆に生かしたものにしていく。



### 鈴木コメント

少人数学級が進んでいるのは嬉しい限り。よりテンポアップして進めるべきだ。一貫教育は理想押し付けではなく、現場第一主義で！



これはひどい

## 高校入学奨学金を「廃止」。

## 理由は—「ステップアップするため」？



**露木議員**：「今回の廃止は、ステップアップのための廃止とうけとってよいか？」

**副市長**：「そのとおりでございます。」

3月議会で廃止された「高校入学奨学金」。その廃止の理由をめぐって、議会で左のようなやりとりが交わされました。新たな制度を提案もせず、「ステップアップする」から一度「廃止する」との言い分は通りません。

しかも、6月議会で具体化を問うと、「検討中」との答弁が返ってくるだけ。家計が厳しい家庭の子でも、進学できる制度にするため、しっかり追求していきます。

## はむらっ子広場 東小でスタート



学校の校庭・教室をつかって、指導員を配置して、放課後の子どもの遊び場づくりをおこなう「はむらっ子広場」が東小学校で最初にスタートしました。週2回開かれます。子どもからは「楽しみにしていた」との声が多く聞かれ、元気に校庭で遊ぶ姿が見られました。

子どもの遊びが豊かに展開される施策になるよう、また、他校でもいち早く実施できるよう市に働きかけていきます。

# 市内の小学校、保育園などで放射線量の測定

単位  $\mu\text{Sv/h}$

市内の小・中学校、公立保育園、学童クラブ、富士見公園で放射線量の測定がおこなわれました。共産党市議団は「少なくとも一度は、市内全域での調査をおこなうべき」と要求。市内の公園42箇所でも調査がおこなわれることになりました。

(市内の学校、学童クラブ、私立保育園での測定値は8月1日号広報はむら、市内42箇所の公園の測定値は8月15日号広報はむらに掲載予定です。)

測定場所	測定日	測定高さ			天候
		5 cm	50cm	1 m	
東小学校	7/8	0.086	0.086	0.078	晴
富士見小学校	7/7	0.092	0.081	0.078	曇
松林小学校	7/7	0.085	0.082	0.084	曇
武蔵野小学校	7/8	0.103	0.100	0.096	曇
羽村一中	7/8	0.087	0.080	0.075	曇
羽村二中	7/8	0.086	0.090	0.092	曇
羽村三中	7/7	0.077	0.084	0.079	曇

●平常時に一般の人(子どもを含む)が受けてよい上限(国際放射線防護委員会07年勧告、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律)は年間1ミリシーベルト。時間当たりに換算すると、0.24マイクロシーベルト。

## 2万人! 「原発ゼロ」集会に参加してきました

「原発ゼロ」をめざし新宿・明治公園でおこなわれた7・2緊急行動に参加してきました。

公園は人でうめつくされ、子ども連れ、浴衣姿、福島第一原発を模した仮装など、思い思いのスタイルで「危険な原発の廃止を、自然エネルギーへの切り替えを」とアピールしました。



志位共産党  
委員長

原発が生み出す莫大な「死の灰」を人類はコントロールできない。そして、日本で利用可能な自然エネルギー量は原発の40倍にもなる。みんなで力合わせ、原発の撤退を政府にせまろう。

「原発ゼロへ」の署名を集めています。ご協力ください。(6/16羽村駅前)



## 「聞こえる防災無線へ」調査費を計上 —6月議会・補正予算



大震災、計画停電などの際に「防災無線が聞こえない」の多くの声が市役所に寄せられました。共産党市議団も以前から改善を要望していました。

6月議会で決定された一般会計補正予算では、280万円を使い、全市的にどこのエリアが聞こえにくいのかの調査をおこなうことになりました。

日本共産党発行の

# しんぶん 赤旗

くらしの視点で、政治のこと・社会のことわかりやすく

●日曜版 月800円  
○日刊紙 月2900円

無料の見本をお届けします  
(電話080-1058-9450まで)

★簡易測定器による放射線測定をおこないます。ご要望ある方はご連絡ください。(080-1058-9450鈴木まで)